

事務事業評価シート（評価対象年度：令和2年度）

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	地域交流促進事業					②事業番号	1304		
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成 12 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等	法令	○ 条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称 泉南市自治基本条例		
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード	款	2	項	1	目	9	細目	2	
⑨担当部名	総合政策部			⑩担当課名	政策推進課			会計	一般

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
地域間交流の促進を目指して、国際理解講座や泉州マラソンの招待選手の誘致など市内外から多くの方が参加できる事業を実施している。また、令和元年には田辺市からの龍神マラソンの招待を受け本市から1名選手を派遣するなど交流の幅が広がっている。	① 交流イベント回数	回
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
多くの方が本市を来訪し、市内外の方が交流し互いに情報交換を行い、有用な情報を取り入れることができる。	① 参加人数	人
	① 計算式	
	② 計算式	
	③ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
地域間交流が盛んになることによって、地域社会と地域経済を活性化する。 また、市の特性を活かしたイベントや事業の推進により、地域間交流の促進に繋がる。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	1 市民すべてが平和を希求するとともに、互いの存在を尊重し信頼しあい、いかなる差別もなく、一人ひとりが大切にされる人権文化のまちをめざします
	施策中	3 国際交流・多文化共生の推進
	施策小	2 地域間交流の推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,745	—	—	
対象指標②								
活動指標①	交流イベント回数	回	1	2	0	2		地域交流の促進として、令和元年度に田辺市からのマラソンの招待を受け本市から1名参加、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントが中止となったが今後も引き続き交流予定。
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	参加人数	人	2	3	0	3		
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.01	0.02	0.02	0.02		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	81	154	153	153		地域交流の促進として、令和元年度に田辺市からのマラソンの招待を受け本市から1名参加、R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のためイベントが中止となったが今後も引き続き交流予定。
	直接事業費	千円	0	28	0	28		
	総事業費	千円	81	182	153	181		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	81	182	153	181		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市制施行30周年を記念して、和歌山県龍神村(現:田辺市)とカップルタウンとなったことから、地域間交流が開始した経緯あり。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	泉南市自治基本条例において、市民と市民、市外の方と市民との交流促進について規定している。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で交流事業ができなかった。

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

B

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

C

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

C

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞

イ	ア. 現状のまま継続 ↓ イ. 見直しのうえで継続 ↓ ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から)
b	<今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	地域間交流を行っている市民活動団体を確認し、行政がそれらの活動をサポートする体制を構築する。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	地域市民主体の地域間交流ヘシフトするために、自治基本条例に基づく市民協働意識の啓発を積極的に展開する。